

「インフルエンザ（流行シーズン）」 注意報発令！

12月7日、県下に「インフルエンザ注意報」が発令されました。今後もインフルエンザの感染拡大が危惧されます。インフルエンザの予防に向けて、取組の徹底を図りましょう。

学校におけるインフルエンザの予防と対応

□朝の健康観察の実施

- ・児童生徒の健康状態についていち早く把握する。
- ・罹患したと思われる時は、早めの受診を勧める。

□教室の換気

- ・休み時間及び授業中に行う。また、廊下の上部の窓を常時開放する。

□児童生徒への指導

- ①外出後の手洗い・うがいを徹底する（流水・石鹸による）
- ②「咳エチケット」を心がける。
 - ・咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用する。
 - ・マスクがない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ他の人から顔をそむけて、1m以上離れる。
 - ・鼻汁、痰などを含んだティッシュはすぐに捨てる。
- ③十分な睡眠とバランスのとれた栄養を摂取し、抵抗力をつける。
- ④予防接種した人も罹患することがあるので、注意する。



Q. インフルエンザと普通の風邪はどう違うの？

A. 風邪は、のどの痛み、鼻汁、くしゃみ、咳等の症状が中心で、全身症状はあまりみられない。インフルエンザは、風邪の症状に加え、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛等の全身倦怠感が比較的急速に表れる。場合によっては、重症化する。